

---

# ロボット工場（絵本）

名野創平

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ロボット工場（絵本）

### 【コード】

N2915G

### 【作者名】

名野創平

### 【あらすじ】

工場でロボットが動物を作る物語。

> i 4 8 5 | 1 4 4 <

「犬を作りましょう」

「そうしましょう」

青い部屋で、ロボットのエイとビイが機械のスイッチをいれまし  
た。

ゴウンゴウン、ゴロゴロ、ポコン。

> i 4 8 6 | 1 4 4 <

青い部屋でエイとビイに組み立てられた犬は、ベルトコンベアで  
赤い部屋へと運ばれました。

「うーん、いいねえ」

赤い部屋で、ロボットのガハクが白い犬に色をぬりました。

> i 4 8 7 | 1 4 4 <

赤い部屋でガハクに色をぬられた犬は、ベルトコンベアで緑の部  
屋へと運ばれました。

「おまえを、まん吉と名づけよう」

緑の部屋で、ロボットのセンニンが犬に命をふきこみました。

> i 4 8 8 | 1 4 4 <

チャンバラ

ママゴト

キャッチボール

「ひとりじゃつまらないよ……」

> i 4 8 9 | 1 4 4 <

「友達がほしい」

まん吉がエイとビイにたのみました。

「猫を作りましょう」

「そうしましょう」

エイとビイが機械のスイッチをいれました。

ゴオンゴオン、コロコロ、ポコン。

> i 4 9 0 | 1 4 4 <

青い部屋でエイとビイとまん吉に組み立てられた猫は、ベルトコンベアで赤い部屋へと運ばれました。

「うーん、いいねえ」

ガハクが満足げにうなずきました。

「うーん、いいねえ」

まん吉もまねしてうなずきました。

> i 4 9 1 | 1 4 4 <

赤い部屋でガハクとまん吉に色をぬられた猫は、ベルトコンベアで緑の部屋へと運ばれました。

「おまえを、みみ助と名づけよう」

センニンが猫に命をふきこみました。

まん吉は、みみ助と名づけられた猫の手をひっぱって白い部屋へといそぎました。

> i 4 9 2 | 1 4 4 <

「……ふふふふ」

「ねえねえ、ヘンな声が聞こえない？」

みみ助が砂をかためる手をとめました。

「うん、聞こえる」

まん吉も顔をこわばらせて手をとめました。

> i 4 9 9 | 1 4 4 <

「二匹は声のするほうを見ました。」

「きゃー」

まん吉が悲鳴をあげました。

「あぁー」

みみ助が尻をおさえました。

「ふはははは」

宇宙人がみみ助のしっぽをもぎとりました。

「しっぽとられたー」

「泣かないで、ボクにいい考えがあるんだ」

まん吉が、泣きじゃくるみみ助の頭をなでて言いました。

> i500 | 144 <

「よいしょ、よいしょ」

「いそがなくつちゃ」

> i501 | 144 <

「みみ助君、しっぽ」

「どうしたの？ それ」

「ボクが作ったんだ」

まん吉はみみ助のそばにしゃがみ、みみ助の尻にしっぽをくつつけました。

「けっこう上手にできてるでしょ」

赤い部屋で、まん吉がベルトコンベアの上の猫をゆびさしました。

「このしっぽ、その猫のなの？」

まん吉がつけたしっぽをふって、みみ助はたずねました。

「そうだよ」

「ボクがこのしっぽをもらったら、こんどはその猫のしっぽがなくなっちゃうよ」

「へいきだよ。だって人形だもん」

「……………」

「ごめんね。このしつぽ返すよ」

みみ助は自分の尻からしつぽをとると、まん吉が作った猫の尻にくつつけました。

「どうして？ 気にいらなかった？」

まん吉が首をかしました。

「そうじゃないよ。でも、こういうことはしちゃいけないよ」

「……ごめんなさい」

まん吉とみみ助とまん吉が作った猫は緑の部屋へむかいました。

「おまえを、みも助と名づけよう」

センニンが、まん吉の作った猫に命をふきこみました。

三匹は喜んで、白い部屋へとかけていきました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2915g/>

---

ロボット工場（絵本）

2010年10月10日19時07分発行